

平成18年度国土施策創発調査

京都を中心とした歴史都市の総合的魅力向上調査に係る

観光客の動向調査

< 要約編 >

平成19年3月

国土交通省近畿地方整備局
京都市・大津市・宇治市

1 調査の目的と概要

(1) 調査の目的と概要

本調査は、「古都」京都を構成する京都市・宇治市・大津市の3都市が連携して実施する「京都を中心とした歴史都市の総合的魅力度向上調査」の一環として、京都市において観光行動調査を実施するものであり、歴史都市における観光の行動の実態把握、課題・提言の検討を目的として実施した。

(2) 調査の概要

なお、調査の流れは下図のとおりで、学識経験者等で構成された「観光客の動向調査」研究会での議論を踏まえて進めた。

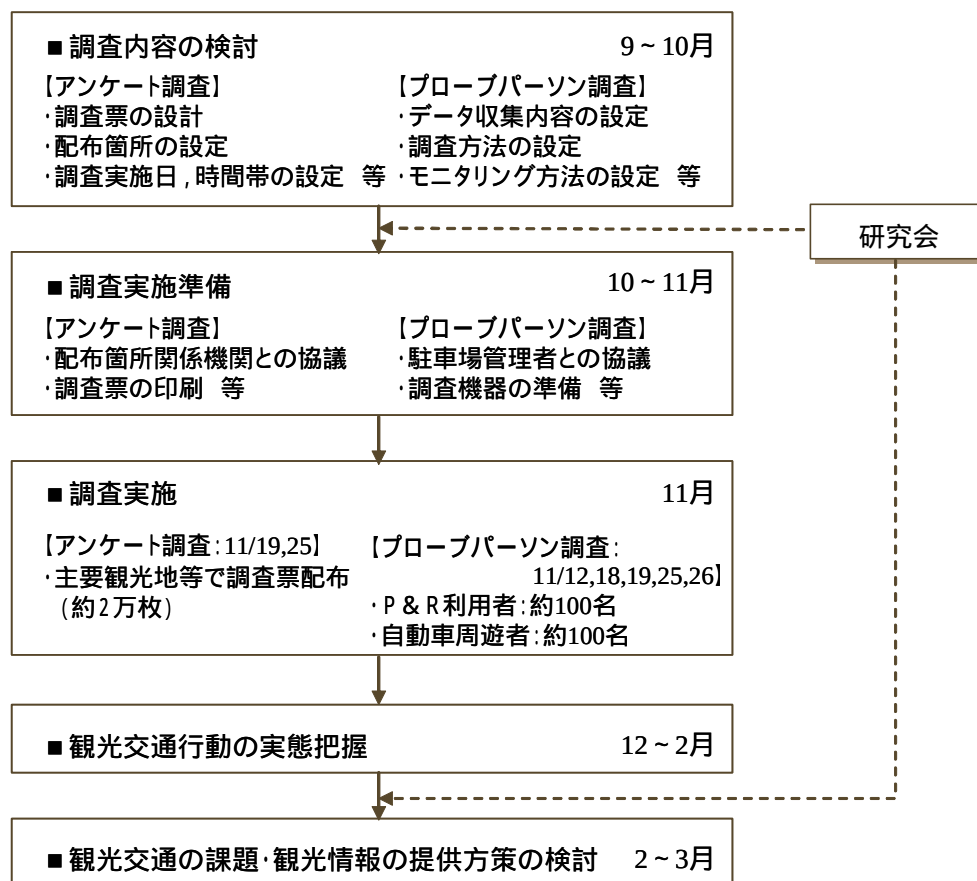


図 調査の流れ

2 アンケート調査の方法と基礎集計

(1) 調査方法

京都市内の主要観光地，鉄道ターミナルにて，観光客に対し調査票を手渡しで配布し，郵送で回収した。調査票の配布枚数は約 20,000 枚である。

表 アンケート調査の概要と回収状況

■ 調査方法	調査票の手渡し配布・郵送回収
■ 調査規模	配布数：約 20,000 枚
■ 調査実施日	2006 年 11 月 19 日(日)，11 月 25 日(土)
■ 配布箇所	主要観光地：29 箇所，鉄道ターミナル：6 箇所
■ 調査項目	被験者属性，今回の旅行の特性（日程，来訪頻度），京都市内の移動特性（トリップチェーン），京都観光に対する評価 など
■ その他	調査票と一緒にボールペンを配布
■ 回収状況	回収数：3,456 枚 回収率：18%

実態調査は 11 月の土・日に実施したが，これは観光客が 1 年中で最も集中し，観光交通の問題が顕在化するとともに，パークアンドライドなどの観光交通対策が実施される時期であるためである。

(2) 基礎集計

- 「恋人・夫婦」，「家族・親戚」，「友人・知人・会社の同僚」がそれぞれ 2～3 割を占める。近畿外居住者でもリピーターは多く，「東海」，「四国」からの観光客では 1 年に 1 回以上京都を訪問する人が半数を超える。
- 「祇園方面」，「清水寺」，「嵐山方面」，「哲学の道周辺」，「河原町・新京極方面」や「京都駅周辺」への立ち寄りが多い。

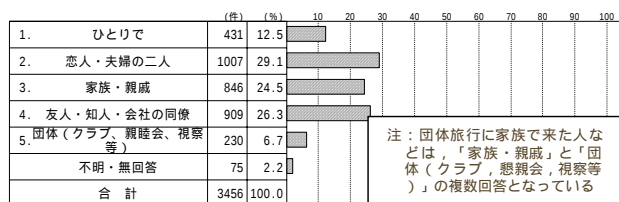


図 グループ属性(アンケート調査)

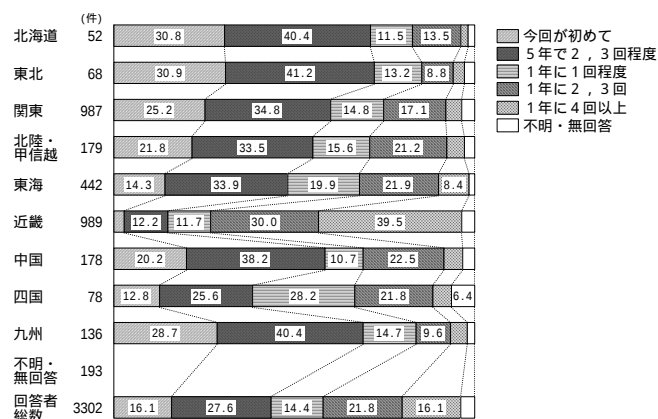


図 居住地と京都への訪問経験(アンケート調査)

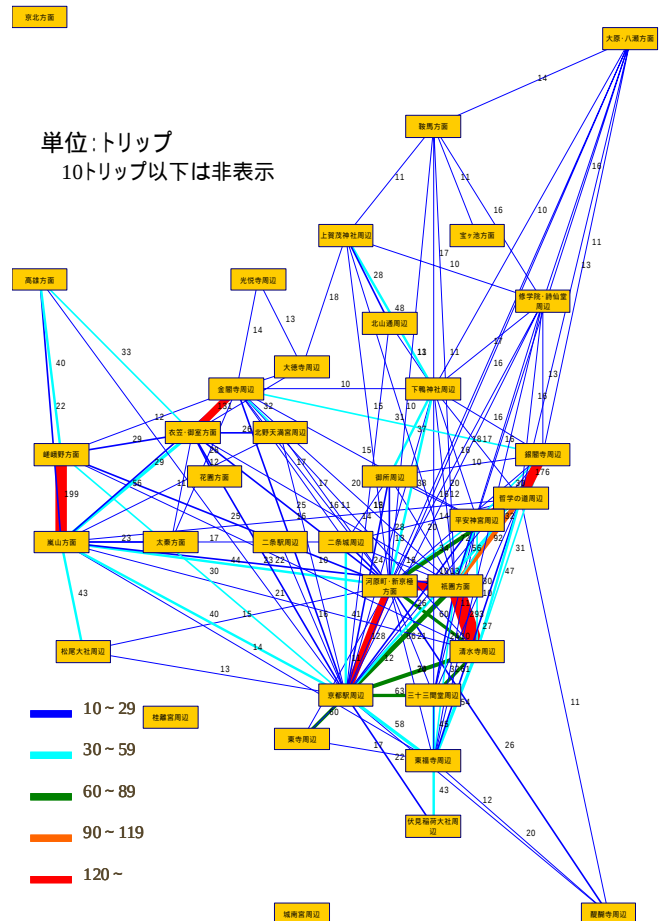
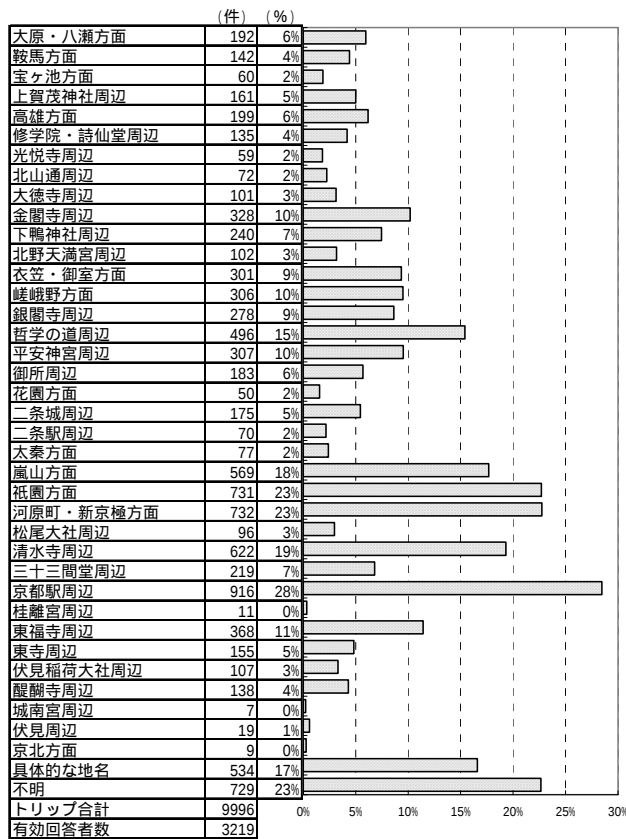


図 観光地別の立ち寄り数と観光地間の流動(アンケート調査)

3 プローブパーソン調査の方法と基礎集計

(1) 調査方法

G P S 携帯電話を用いたプローブパーソン調査 により被験者の移動経路，正確な移動時刻を把握した。被験者は，京都市が「平成 18 年度 のりかえ（無料）駐車場」として設置した駐車場（以下，P&R 駐車場と記す）を利用し公共交通で周遊する観光客（以下，P&R 利用者），市営駐車場等を利用し自動車で周遊する観光客（以下，自動車周遊者）とした。

プローブパーソン調査：GPS 携帯電話を利用し，被験者の移動状況を記録する調査

表 プローブパーソン調査の概要

■ 調査方法	駐車場にて GPS 携帯電話の手渡し配布・回収(謝礼はギフトカード 3,000 円分)
■ 調査規模	被験者数：P&R 利用者，自動車周遊者それぞれ約 100 名 京都観光の全体の動向を正確に把握できる数ではなく，観光客の詳細な行動を見るために必要なサンプル数である。
■ 調査実施日	2006 年 11 月 12 日(日)，18 日(土)，19 日(日)，25 日(土)，26 日(日) 11 月の土日に実施した理由は，アンケート調査と同様
■ 配布箇所	P & R 利用者：P&R 駐車場のうち，2 箇所(京都南I7A，丹波口I7A) 自動車周遊者：二条城駐車場，岡崎公園駐車場，阪急嵐山駐車場
■ 調査項目	京都市内での移動軌跡（位置，時刻），各訪問地での出費額・出費品目，観光中に印象に残ったこと等のコメント

(2) 基礎集計

- 主な訪問地は、都心地域、東山地区の清水寺～銀閣寺にかけての地域、嵐山地域であり、京都駅への訪問も多い。
- 土産物代は観光地の河原町通沿いで多く単価が高い。
- 訪問の多い嵐山地域や東山地域の道路の他、その2地域を結ぶ丸太町通や四条通の利用も多い。

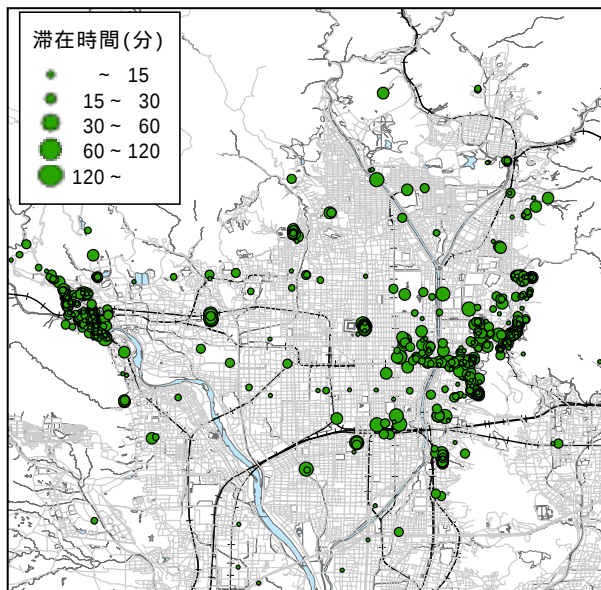


図 滞在地点

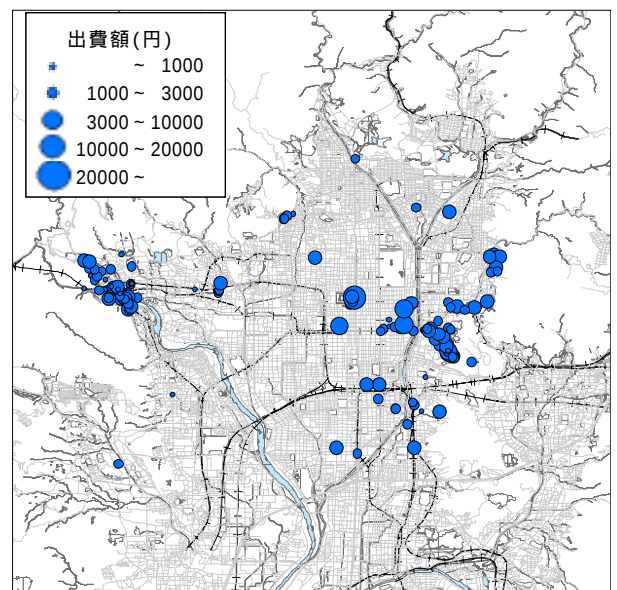


図 出費額(土産代)

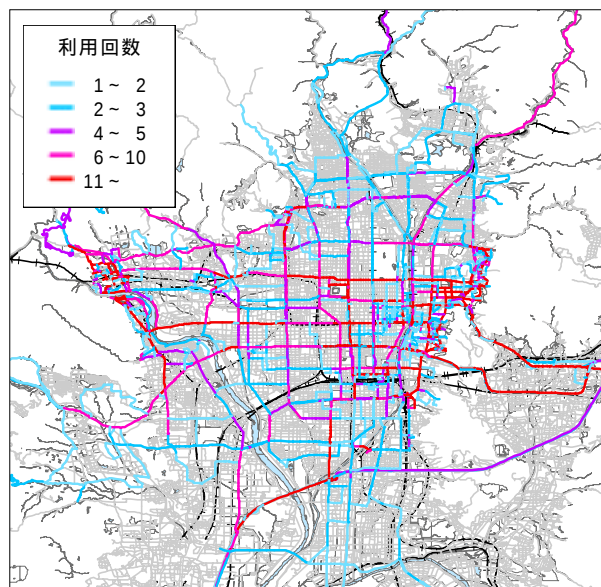


図 リンク利用回数

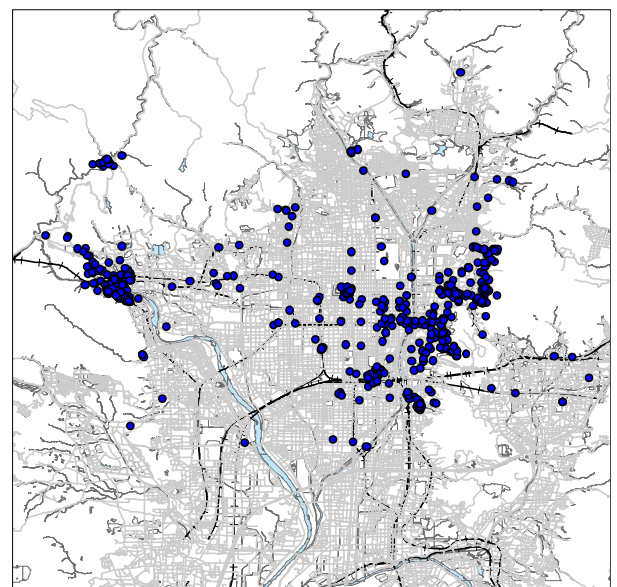


図 コメント入力地点